

競技注意事項

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

【補助競技場】のレーンの使用について（※愛媛陸協申し合わせ事項）

▼使用禁止▼11:45～マスターズ5000m終了まで（変更の場合あり）

マスターズ長距離レース実施のため、上記の間は補助競技場を使用できません。

- ① 1～2レーンは周回練習（長距離）のみ使用可。3～4レーンは【流し】で使用
 - ② スタプロを使用してのスタート練習は、多目的広場側直走路5～10レーンのみ
※器具倉庫前（砂場付近）では、スタプロを使用しない
 - ③ リレーの練習は、第2コーナー（用具倉庫前）及び第3コーナー（砲丸投ピット付近）を使用
※第1・4コーナー付近でのリレー練習は禁止
 - ④ ソフトボール投のボールを使用しての練習はできない。 ※安全面から禁止
- 【雨天練習場】の使用について（※雨天時のみ、使用可。アップのみ。スパイク禁止。）
- ① 雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
 - ② 雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
 - ③ シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
 - ④ ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
 - ⑤ ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。

2 アスリートビブス（ゼッケン）について

アスリートビブスは、主催者が準備したものを使用し、指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。小学生のアスリートビブスは、受付時に配付する。競技終了後、必ず返却すること。（安全ピンは各自で準備すること）

3 選手の招集について

- (1) 選手招集場所・・・第4ゲート（100mスタート付近）の北エントランスとする。
- (2) 招集の流れ

- ① 選手の招集時間は下記のとおりとする。 ※棒高跳は別に設定する。

各競技の	トラック競技		フィールド競技	
	開始	完了	開始	完了
	30分前	20分前	40分前	30分前

- ② 【1次コール】（出欠点呼）

- ・競技者系の点呼を受け、アスリートビブスを確認する。
- ・トラック競技に出場する選手は、指示された腰ナンバーを取り右腰やや後方に付ける。

- ③ 【2次（最終）コール】 ・各競技のスタート待機場所で行う。

- ④ リレー競技に出場するチームは、リレー招集完了時刻の1時間前までに、競技者招集所に用意しているオーダー用紙にオーダーを記入し、1枚提出すること。

4 競技方法について

- ① その競技に出場する選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ② 競技に際してはオールウェザー用のスパイク又はシューズを使用すること。なお、本記録会では「レースで使用するシューズのルール改定について（2020年8月19日更新）」は、適用しない。
- ③ スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
ただし、1～3年生については、スタンディングスタートのみとする。スタートコールは、1～3年生は日本語コール、4～6年生はイングリッシュコールとする。
- ④ スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
（※失格となった競技者は、オープン参加として参考記録を計測する。）
- ⑤ 100mならびに4×100mRでは、選手の安全のため、決勝ライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥ トラック種目は、タイムレースで順位を決定する。
- ⑦ 男女1000mは、参加人数により同学年男女混合レースや複数学年混合レースの場合もある。ただし、順位は学年別、男女別で決定する。
- ⑧ フィールド競技の試技回数は3回とする。
- ⑨ トラック競技において、同記録の場合は、写真判定主任により1000分の1秒まで比較し、順位を決定する。それでも、同タイムの場合は、同順位とする。
- ⑩ 同時に2種目出場する者は、その旨を競技者係に申し出ること。その場合、トラック競技を優先する。

5 表彰式・記録証の配付について

- ① 各種目上位3位まで賞状を授与する。総合結果発表後、賞状を中央エントランス内に取りに来ること。 ※表彰式は行わない。
- ② 出場者全員に記録証を配付する。各チーム等で中央エントランス内に取りに来ること。

6 その他

- ① 本大会は、非公認大会である。
- ② 受付（小学生陸上）は8:15～8:45に必ず済ませること。（南エントランス）
- ③ 応急処置を要する健康上の問題点が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。

※ 監督者会議は行いません。